

令和5年11月定例記者会見要旨

開催日時 令和5年11月22日(水) 午前10時30分 302会議室

(総務部長) 皆さんこんにちは。常日頃より大変ありがとうございます。ただいまより、11月の市長定例記者会見を開始します。よろしく申し上げます。

(市長) 皆さんこんにちは。いつもお世話になりましてありがとうございます。11月はいくつかの小学校が150周年記念、諏訪中学校が70周年記念と大きな周年事業がありました。歴史を感じながら、子供たちも長い時間軸で自分たちの学校を見つめ直す良い機会になっていたかと思います。そして、自分たちの手作りの寸劇やビデオを作成したり音楽会だったり、私自身も子供たちが頑張っているのを実感できて大変嬉しく思いました。それぞれに取材がありありがとうございます。いよいよ今年も12月を残すのみとなってまいりました。

はじめに、今月の文化センターの講演会についてです。「近現代の建造物の保存と活用」と題して、この分野で大変著名な後藤治先生を講師にお招きしております。文化財としての観点から文化センターの魅力を知ってもらい、改修についての必要性や気運を高めるとともに、文化財への関心を高めていただきたいという趣旨でございます。ご承知のとおり、第1回目は9月16日に工学院大学総合研究所の客員研究員の二村悟先生により「国登録有形文化財・諏訪市文化センターの魅力」と題し、講演をいただきました。市内や近隣の文化財の紹介を含めて文化財の魅力やその設計者である吉田五十八の特徴などの観点から講演をいただいたところです。今回は、工学院大学の理事長で、大規模改修工事基本設計業務における技術指導者でもある後藤先生を迎え、近現代建築の保存に関する国の動向や全国の利活用の事例などを紹介していただきながら、今後の改修及び改修後の文化センターの活用の可能性を皆さんと一緒に考える機会となることを期待しております。11月26日の午後1時半から3時を予定しております。議員の皆さんも関心を持っていただき、それを通して市民の皆さんも関心を寄せていただいているかと思っておりますので、多くの皆様にご参加いただきたいと思います。現在行っている「利用者や市民などからの改修内容についての提案募集」(11月30日締切り)に反映していただきたいと思います。市民への説明や報告などを経て、3月末に基本設計を完了する予定であります。

次に、「コムハムスマートコンポスト(大型生ごみ処理機)」実証実験の市民モニターを募集します。参加者のエントリーは12月1日から定員に達するまでとなっています。実証実験期間は1月9日から2月16日を予定しております。生ごみ処理機ですが、現在は福祉作業所「さざ波の家」に設置してご利用いただきましたが、設置から15年が経過し、老朽化が心配されています。故障等による機器のメンテナンスサービスが令和8年度末での終了と聞いております。コムハムスマートコンポストは、微生物群「コムハム菌」による分解処理技術を用いたもので、我々も2050年のカーボンニュートラルの実現のため、環境負荷の少ない生ごみ処理方法としての有効性を確認し、現行の大型生ごみ処理機に替わる新たな生ごみ処理方法として、燃やすごみを減量化していきたいという意図であります。対象は諏訪市在住の市民で、市民モニターとして家庭から出る生ごみをご自身でスマートコンポストに投入します。スマートコンポストは諏訪市役所の構内に設置いたします。申込みは、市ホームページ等に掲載する(株)k o m h a m公式LINEの応募フォームよりお願いいたします。設置機器について先ほどもご説明申し上げましたが、1日で生ごみの98%を水と二酸化炭素に高速分解する機器と聞いております。寒冷地における「コムハム菌」の正常な分解機能を確認するため、AC電源を用いて加温しながら分解機能を補助いたしますが、この効果を確認したいということで、ぜひ多くの皆様にご参加いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

次に、「ファミリーゲレンデ霧ヶ峰スキー場開き」についてです。いよいよ冬山のシーズンが到来いたします。今年は12月23日をオープンの日と設定いたしました。9時半からオープン式典を行い、10時からリフト稼働開始となります。オープン当日はリフト、らくちんくん、キッズパークをすべて無料開放いたしますので、多くの皆さんにお越しいただきたいと思っております。

続いては、「第45回諏訪市芸術祭」についてです。人気の寄席で落語ですが、「年忘れ寄席すわ亭」が12月23日の14時開演で、会場は諏訪市文化センターです。現在予約受付中であり、まだ若干のお席があるようなので、お早めにお申込みいただきたいと思っております。前売券が一般2,000円、高校生以下1,000円です。諏訪市出身で、過日お披露目の会をされました古今亭雛菊さんも登場されます。柳家さん喬さん、柳貴家雪之介さん、笑福亭鶴光さん、江戸家猫八さん、きょうこさんと日本を代表する方々に来ていただきますので、ぜひお越しください。

それから、博物館の企画展「没後50年 考古学者 藤森栄一と諏訪の考古学」が11月18日よりスタートしております。藤森栄一は諏訪市出身の有名な考古学者で、明治44年(1911年)上諏訪に生まれ、昭和48年(1973年)12月19日に亡くなって今年で50年が経ち、その業績を知る人が減ってきている現状もあります。博物館では開館時より藤森栄一の顕彰展示を行うなど、知名度をしっかりと維持していくための企画展などを行ってききましたが、ここで50年の節目に企画展を行い、その業績を皆さんに多く知っていただきたいと思っております。栄一の弟子で、没後に諏訪地域の調査研究をけん引したのが宮坂光昭という方で、この方の没後10年のミニ展示も2階のすわ大昔ミニギャラリーにて同時開催いたします。そして、先着順の申込みの関連イベントも3回開催します。第1回は12月3日に「じっくり一日、考古学者 藤森栄一を振り返る」、第2回は12月10日に「藤森栄一弟子 宮坂光昭 没後10年 事績と思い出を語りあう」、そして第3回は12月17日に「第47回藤森栄一賞授賞式 記念講演会」となります。それぞれ定員がございまして、お早めにお申込みいただきたいと思っております。12月24日までの期間中特別展が行われておりますので、ぜひご覧いただきたいと思っております。

その他リマインドとしてお知らせしたいのが、11月25日の午後1時半から開催される令和5年度すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト」です。第1期生がプログラムを完了いたしまして、最終日として市長への提言及び修了式となります。今回のテーマが「ゼロカーボンシティの実現に向けて」ということで、参加した小中学生メンバー、サポートしてくれた高校生の参加者10名から、私宛てに具体的な提言をもらうことになっております。大いに楽しみにしている企画でありますので、ぜひ取材をお願いしたいと思います。

(副市長) 市民環境部環境課のコムハムスマートコンポストの関係で少し補足をさせていただきます。生ごみの98%を水と二酸化炭素に分解する菌で、実証実験をやって、これができるか確認する取組みになります。二酸化炭素に分解することになると、CO₂が出てしまうのではないかとという疑問もあると思っておりますが、仮にこの生ごみを焼却処理した場合に出る二酸化炭素と、コムハムコンポストで生ずる二酸化炭素を比べた場合、焼却処理の二酸化炭素排出量の1/113という理論値です。また、生ごみを堆肥化されている方もたくさんいらっしゃいますが、堆肥化した時に出る二酸化炭素の1/10という理論値だそうです。ほぼ生ごみがなくなって水と二酸化炭素になってしまうのですが、そこで出る二酸化炭素も燃やしたり堆肥するよりはるかに少ない二酸化炭素であるのがこのコンポストの売りです。

(12月の日程説明等)

○チャレンジショップ

12月 9日(土) 午前 9時50分 すわっチャオ

○諏訪市議会 本会議【最終日】

12月14日(木) 午前10時00分 議場

○ゆかり市長の出張トーク

12月19日(火) 午前 9時00分 302会議室

○令和5年度諏訪市消防団年末警戒 激励式

12月21日(木) 午後 7時30分 正面玄関前

○教育委員会関係12月行事予定

記者との質疑応答

○諏訪湖スマートインターチェンジについて

(記者) 開通予定時期が遅れるとのことでの影響についての考えは。

(市長) 今回開通が延期になった理由は、掘削により想定していなかった軟弱な地盤対策を必要とする状況が出現してきたということであり、このような事業においては時折あることで、開通時期を間に合わせるために急ぐことによって、その後開通してからの改修となると、非常に困難を極めるものになります。安全、安心して利用いただける完成品を目指すことを優先と考えておりました。調整させていただき、協議会で決定をいただいたことが先日の発表でありました。そして直後に関係する地元の皆さんにも説明会にてお知らせをし、ご理解いただいたところでもあります。地元だけでなく多くの方が開通を期待していらっしゃると思います。この方たちにとっては残念に思われていることと思いますが、開通後にはこの効果をしっかり享受していただけるように、また意見交換や情報共有を重ねていきたいと思っております。

(記者) 地域の方々への影響に対しては。

(市長) 諏訪市の地域の皆様の説明会においては、概ね理解をいただいているという報告を受けております。少なからず負荷が地域にかかることは十分に考えられますので、できるだけ早い開通を目指して鋭意努力してまいりたいと思っております。

○京都府八幡市長について

(記者) 全国最年少の女性市長が誕生したが、市長の受け止めは。

(市長) まず女性が政治的な分野で意思決定に関わる比率が日本は世界に比して低い中にあり、女性の市長が誕生されたことは私たちにとって大いに勇気づけられるニュースだと捉えております。八幡市の状況等の具体的なことはあまり承知しておりませんので、政策についてのコメントは控えたいと思います。若い方達が政治の分野に挑戦されることは、若い方の政治への関心も上がっていくきっかけにもなるかという期待もありますし、若い時代からそうした分野に取り組まれるということで、大いに歓迎したいニュースだったと感じております。

○「諏訪シネマズ」映画について

(記者) 国際的な賞を取る映画が多くなってきている現状への考えは。

(市長) 諏訪フィルムコミッションが設立されてから約15年が経過しているかと思えます。担当者も熱心に映画のロケ地として地域のアピールに努力を重ねてきてくれました。ここところは枝監督をはじめ、世界的にも注目を集める力のある皆さんが監督として参加していただき、私たちとしても大変嬉しい思いでおります。「怪物」は第5号、そして「ゴジラ」は第6

号として諏訪シネマズに認定されました。いずれも話題性のある素晴らしい映画であり、大変嬉しく思っています。これは監督の力やスタッフの皆さんの力が申し分ないことは言うまでもございませんが、加えて映画を撮影する地元の皆さんの協力が嬉しいという評価をいただいています。地域としても大事な取組みで、そのフィルムの中に地元の映像が入ってくることを市民の皆さんや市町村民の圏域住民の皆さんが歓迎していたり、喜んで協力してくれていることで、評価をいただいていると思っております。この地域はまだ発見されていない映画の最適地がたくさん隠れていると思いますので、ぜひそうした部分を見つけて掘り出していただき、アピールしていただけたら大変嬉しいと思っています。

（記者）さらに地元の効果がある方策は。

（市長）「怪物」の時には、ロケ地を巡るマップがかなりの数配布され、増刷しなくてはならないくらいの人気を博しました。諏訪湖周サイクリングロードが間もなく完成しますが、自転車活用にも力を入れています。映画をきっかけとした地域との観光振興や文化振興、文化財的な建物に注目が集まって、監督や映画制作者の皆さんが採用されたということもありますので、そうした理解促進が実は地元のお宝だと再認識されることを期待します。またアイデア等発見される方が生まれてくるだろうと思っておりますので、そうした第二次、第三次波及効果を大いに期待したいし、我々も努力していきたいと思っております。

（記者）誘致に対して財政的な支援、人材育成についての考えは。

（市長）映画関係の人材育成をテーマとした諏訪市としての計画は持っておりませんが、すでに是枝監督が城南小学校の希望する子供たちにシリーズで映画講座をしてくださいました。そうした取り組みに対しては、主体的にそうした活動が生まれてくることは大いに歓迎しております。人材育成については、フィルムコミッションの方の力量によるところは非常に大きいと評価しています。我々は組織で仕事をしておりますので、個人の力だけに頼るのではなく、諏訪地方観光連盟としてそのノウハウや力を共有していくことは非常に大事な取り組みだと思っております。

（総務部長）それでは以上をもちまして11月の定例記者会見を終了します。どうもありがとうございました。